

## 梅窓院通信

No.136  
2025/04/01

青山



本堂前にある涅槃像。お釈迦さまは亡くなられたのちに、  
一切の悩みや束縛から解かれて、平和で安らかな悟りの境地、涅槃に至ったとされます。

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島真成



四月は新年度のスタートで、入学や入社される皆さんをはじめ、気持ちも新たに新年度を迎える方も多いかと存じます。人生の中で迎える区切りのタイミングは人それぞれですが、そこで生活スタイルや心構えを切り替えるのも良いことではないでしょうか。

五月の大施餓鬼会では副住職に導師を務めてもらうことにしました。そして、法要前の法話は割愛させていただきますので、法話につきましては念仏と法話の会でお聴きくださるよう、お願い申し上げます。

また、六月の開山忌法要ではこれまで能楽を奉納して参りましたが、ここ数年、一般の方の参加が檀信徒の方を大幅に上回っていることから、一度見直すために今年に能楽を奉納しないことになりました。毎年楽しみにされている檀信徒の皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

続いて檀信徒の皆様へのお願いです。一つ目のお願いは、この『青山』の「お檀家さん」に伺いました「コーナー」(最終面)へのご協力をお願いです。行事にご参加いただいている檀信徒の皆様にご報告員がお声掛けしています。未登場の方はぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

二つ目は詠唱会へのお願いです。詠唱とは、仏教に関する歌詞をシンプルな鳴り物と共に歌うことで、梅窓院では行事や大法要で、また増上寺での発表会で皆揃ってお唱えいたします。声を出すのは健康にも良いですし、お仲間もできます。男女年齢を問いませんので、どうぞお気軽にお声掛けください。

最後に報告です。墓苑内の参道工事がだいぶ進み、全体の半分を超えました。今しばらくご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

# お施餓鬼

## 五月十七日(土)

### 大施餓鬼会法要

午後二時～ 二階 本堂

・場所や内容が変更となる可能性もございます。  
・会場内の空調は微調整が難しいため、ご自身で温度調整できる服装でご来寺ください。



昨年の大施餓鬼会法要の様子。

### 施餓鬼<sup>せがき</sup>によせて

令和も七年目の春を迎えました。

「七」と言えばラッキーセブンとも申しますが、仏教でこの七は「苦しみを超えた」という意味合いがあります。どういふことかと言いますと、仏教では本当の意味で苦しみから逃れるということは、六道輪廻(地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天界)の世界から離れていくことと説くので、六の次の七は「苦しみを超えた境地」を示します。お釈迦さまがお生まれになつて七歩あゆまれたのは、その意味があります。

例年お勤めされる梅窓院の「お施餓鬼」も、苦しみの世界から離れていく作法を行う法要です。

お経には、或る日、お釈迦さまの弟子である阿難さまが瞑想のご修行をされていると、口から炎を吐く餓鬼が現れました。そして阿難さまに「お前は三日後に死ぬだろう」と告げました。阿難さまは驚いて「その苦から逃れるにはどうすればよいのか」と尋ねると、「餓鬼のために飲み物食べ物布施し供養すれば、多くの餓鬼が救われ天界に生まれ変わることができよう」と言われ、これを聞いた阿難さまはお釈迦さまに教えを乞い、お釈迦さまより「施餓鬼」という供養の方法を授かりました。阿難さまは早速に一鉢の食を設けお釈迦さまから教えられたお経「陀羅尼<sup>だらに</sup>」を称えました。すると忽ち食は無量の飲食となり、すべての餓鬼が食を得て飢えや渴きを癒すことができました。阿難さまも災難から逃れ、寿命も延び救われたそうです。

このような由来からお施餓鬼の法要にはあらゆるひとびとを救う功德があると伝わっています。

私たちがお施餓鬼の法要に参加することにより、有縁無縁の亡き命に功德が回し向けられ、私たちもその功德をいただけることでしょう。そして何より、お念仏をお称えることによつて、自らがいつか六道を超え、極楽浄

### 回向のお申込み方法とお知らせ

#### ◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御回向料 … 一本／七千円

同封のハガキにご記入の上、四月三十日(水)必着でお申込みください。  
当日の法要にご参加される方は、出席人数も合わせてご記入ください。

#### ◆お支払い方法

塔婆回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払いいただくか、受付までお持ちください。**銀行・コンビニでのお支払いはできません。**  
また、払込取扱票に記載の口座番号  
00130049303033はお支払い金額で  
はございませんので、ご注意ください。

#### ◆お塔婆のお渡し



施餓鬼会法要終了後にお渡しいたします。ご欠席の場合は後日、僧侶にて建てさせていただきます。ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせください。

土に生まれることができるようにと願う心を養うご縁となります。どうぞ、梅窓院大施餓鬼会法要へのご参拝を心よりお待ちしております。

合掌  
(法務部 瀧沢孝彦)

第八九回

# 念仏と法話の会

六月五日(木)

べつじねんぶつえ  
別時念仏会 午後一時～ 二階 本堂

法話 法要終了後～ 一階 観音堂

講師 秋田県横手市 九品寺住職

津村 侑弥 上人



以前梅窓院に勤められていた津村上人

茶話会(希望者) 法話終了後 一階 控室

※途中休憩がございます。  
※行程・内容が変更となる可能性もございます。  
※希望者は茶話会にて、ご僧侶や参加者との歓談もお楽しみください。

「念仏と法話の会」は浄土宗が一番大切にしている念仏を皆さんと一緒に木魚を叩きながら称え、念仏の教えを説く法話を聞く行事で、年に三回行われる梅窓院の昔からある定番の行事です。お念仏の後にはご僧侶の法話もござります。どなたでもご参加いただけますので、事前にお申し込みください。詳細は同封のチラシをご覧ください。

# 開山忌法要

六月十四日(土)

法要 午後二時～ 二階 本堂

梅窓院を開かれた南龍和尚のご供養と報恩謝徳の法要を執り行います。

江戸時代の初め、一六四三年(寛永二十年)に梅窓院は青山家を開基、贈り開山上人を観智国師、実質開山上人を南龍和尚として開かれました。開山忌はこのお二人の上人への報恩謝徳の気持ちを伝える法要です。

ちなみに観智国師は徳川家康公の帰依を受け、浄土宗と徳川家の縁を結んだ増上寺の住職でした。梅窓院の開基が同じ徳川家に仕えた武将ですから、観智国師が贈り開山上人になったのも自然の流れ、と言えるでしょう。



昨年の開山忌法要の様子。

## ジャパンエキスパートシステム墓苑事業部からのお知らせ

皆様の連絡手段は何をお使いですか？電話、FAX、携帯電話などございますが、今はLINE(ライン)をお使いの方も多いのではないでしょうか。

先日、ご家族の連絡先を記載する際に「いつもLINEで連絡しているから親戚の電話番号がわからない」という方がおられました。10年以上前ですが、私がLINEアプリをスマホに入れたばかりの頃、同じ状況のお檀家様とLINEの使い方の話しになり、まずはお友達追加からよね、と休憩所の中でお互いのスマホをせっせと振ってお友達追加をしました(今は無い機能です)。その時いらした全然存じあげない方もお友達になって、スタンプを送ったり、グループを作って練習したのは懐かしい思い出です。

今は墓苑部とお檀家様との間でお墓のお掃除の相談や、ペットちゃんの法要のご相談など、LINEで連絡を取り合うことが増えました。

スマホのアイコンが皆さん个性的で墓苑部で色々推測しながら楽しんで見させていただいております。(墓苑事業部 森)



友だち追加

墓苑部LINE友だち追加用QRコード。お墓のお掃除や墓苑代行作業のご相談はこちらから。

## 二月の行事報告

### 第88回 念仏と法話の会 2月17日(月)



別時念仏会の様子

## お檀家さんに伺いました

### 『主人への想い』

令和7年 修正会にて

新年の挨拶も兼ねて、主人のお墓参りに来ました。主人を偲びながら、改めて感謝の気持ちを抱きました。また、この広報誌を通じて修正会のことを知り、初めて法要に参加させていただきました。

修正会への参加は、京都が好きだった私にとって、本堂で感じたお線香の香りや、大勢のご僧侶が一齐にお経を称える姿に、昔の記憶が蘇り、心が穏やかに感動しました。

この貴重な機会をいただけたことに、心から感謝いたします。ありがとうございました。

## 行事予定

### ■ 増上寺 令和7年度 御忌大会

4月2日(水)～7日(月)

大本山増上寺で4月2日～7日まで浄土宗の宗祖法然上人の御徳をたたえ、その御徳に感謝する特別な法要が行われます。

4月3日(木)には詠唱大会が開かれ、北海道から静岡までの詠唱会が大殿(本堂)で奉納します。梅窓院の詠唱会も奉納します。



増上寺大殿での詠唱奉納の様子

### ■ はなまつり

4月2日(水)～8日(火) 2階 本堂

お釈迦様の誕生日をお祝いする「はなまつり」。寺院棟2階本堂エントランスに花御堂がございます。甘茶を誕生仏におかけしていただけますので、皆様どうぞご参拝ください。



### ■ 大施餓鬼会法要 5月17日(土)

※詳細は中面をご覧ください。

### ■ 第89回 念仏と法話の会 6月5日(木)

※詳細は中面と同封チラシをご覧ください。

### ■ 開山忌法要 6月14日(土)

※詳細は中面をご覧ください。

発行 / 梅窓院  
発行日 / 2025年4月1日  
発行人 / 中島 真成  
編集 / 梅窓院 広報部  
住所 / 〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38  
電話 / 03-3404-8447  
FAX / 03-3404-8107  
ホームページ / <https://baisouin.or.jp/>  
E-Mail / [jodo@baisouin.or.jp](mailto:jodo@baisouin.or.jp)  
題字 / 中村康隆元浄土門主  
総本山知恩院第八十六世門跡